

令和6年度

肢体不自由教育部門

中学部

第2学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	国語		学習グループ名				中⑤
目標・ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を養う。 (3) 読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができる。						
担当教職員 *学校介護職員	巻島 圭子						
年間授業時数	140時間	単位時間		50分			
使用教科書	三省堂「現代の国語」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	豊かに想像する	10	○詩「名づけられた葉」◆詩のメッセージを捉える。 ○小説「セミロングホームルーム」◆人物の設定の仕方、人物の関係を捉える。○言語「敬語」◆敬語の正しい使い方を知る。			ICT機器の活用 ワークシートの活用 劇形式で人物になって敬語を使ってみる。	
5	分かりやすく伝える	15	○説明文2種 ◆文章構成や論理の展開を考える。 ○手紙、メール ◆言葉には相手の行動を促すはたらきがあることを知る。			文章構成を理解しやすいように視覚的に分かりやすく示す。 ICT機器やワークシートの活用	
6	物の見方・感性を養う	15	○短歌の世界・短歌十種 ◆理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ○文法・言語事項 ◆全体と部分との関係に注意する。			ICT機器やワークシートの活用 既習の内容や既知の事項と結び付けたり広げたりして理解できるように留意する。	
7	物の見方・感性を養う	10	○短歌・俳句創作 ◆表現の工夫とその効果等について、自分の文章の良い点や改善点を見出す。 ○文法・言語事項 ◆用言の活用・上位語下位語について知る。			ICT機器の活用 既習の内容や既知の事項と結び付けたり広げたりして理解できるように留意する。	
9	論理的に考える	15	○ルポルタージュ「壁に残された伝言」◆歴史的な事実を踏まえながら内容を解釈する。○評論「百年後の水を守る」◆文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。			ICT機器の活用、文章構成の視覚的提示 歴史的な事実や既知の事実と結び付けたり広げたりしながら理解を促す。	
10	論理的に考える 古典に学ぶ	15	○枕草子・徒然草・平家物語 ◆古典に表れた物の見方や考え方を知る。○漢詩の世界 ◆作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。			ICT機器やワークシートの活用 現代語訳等を手掛かりに作品を音読する。 作品に登場する事物について視覚的に提示	
11	情報を関連付ける	15	○プレゼンテーション ◆資料や機器を活用して効果的に発表する。 ○「互いに支えあえる共生社会を作るために」複数の情報を関連付けて考えをまとめる ○文法事項 ◆助詞・助動詞の働きを知る			ICT機器やワークシートの活用 複数の資料の関連性を視覚的に分かりやすく提示する。	
12	読みを深め合う	10	○詩「大阿蘇」・小説「小さな手袋」 ◆登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を理解する。 ○言語事項 ◆類義語、多義語、対義語について知る。			ICT機器やワークシートの活用 登場人物の関係性や特色などを分かりやすく提示し、生徒の言葉で説明できるように導く	
1	読みを深め合う 視野を広げる	7	○ピリオパバトル、創作文 ◆描写や展開などを工夫して書く。 ○言語事項 ◆熟語の読みを分類的に理解する。			ICT機器やワークシートの活用 言語→単語→短文→文章構成→文章化というように手順を追って指導する。	
2	視野を広げる	14	○評論「動物園でできること」 ◆文章の全体と部分、主張と例示の関係に注意して筆者の主張を捉える。			ICT機器やワークシートの活用 文章の理解を補うために、動画や画像などを使う。文章構成の視覚的提示。	
3	振り返って見つめる	14	○小説「走れメロス」 ◆観点を明確にして文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える。○書く「地域の魅力を振り返る」◆集めた材料を整理し、効果的表現になるよう工夫して文章化する。			ICT機器やワークシートの活用 登場人物の関係性や特色などを分かりやすく提示し、生徒の言葉で説明できるように導く。	
通年	漢字の読み書き 語句の意味		○新出漢字・意味調べ ◆新出漢字の読み書きの定着を図る。 ◆辞書等で意味を調べて理解する習慣を付ける。			ワークシートの活用 繰り返しの指導	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	社会	学習グループ名	中⑤	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	社会		学習グループ名		中⑤				
目標・ねらい	(1)日本の歴史の大きな流れを理解する。 (2)資料やグラフを活用し、歴史的事象の起きた理由について考える力を養う。 (3)日本の発展に諸外国との交流が密接に関わっていることに注目する。								
担当教職員 *学校介護職員	小柳 伸哉								
年間授業時数	105 単位時間								
使用教科書	帝国書院「中学生の地理」 東京書籍「新しい社会 歴史」								
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)				指導上の留意点及び工夫		
4	第3章 近世の日本	18	○武家社会の中で、外国からの影響を受けながら発展していく産業、文化を中心に時代の流れを確認する。 ◆大航海時代による諸外国からの影響と武士社会の確立、産業の発展や特色ある文化の違いについて理解を深めていく。				・複雑な日本と世界の関係を理解できるよう、短い動画などを適宜使用する。 ・当時の人々の生活を知ることができるような絵巻物などを提示する。		
5									
6	第2部 日本のさまざまな地域 第1章 日本の姿	12	○日本の場所や地理的条件、環境などを多角的に捉え、基本的な知識を確認し、覚える。 ◆地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などから、日本の地域構成を捉える。				・各地域のたまかな気候や特色などを把握できるよう、白地図に書き込むことができる教材を用意する。		
7	第2章 世界と比べた日本の地域的特色	6	○世界と日本の地理的資料を確認し、地域的特色についてまとめる。 ◆世界と日本を比べ、同じところや違うところに気付きながら、日本独自の特色を捉える。				・日本と世界の地形や生活を見比べることができるよう、地球儀アプリのストリートビューを利用する。		
9	第3章 日本の諸地域	21	○資料や写真、映像資料から、各地域における特色をまとめる。 ◆様々な地理的条件における違いを見付ける。 ◆各地の気候的、産業的特色をに気付く。				・他の地域と比べることができるよう、工業や農業など、項目ごとにまとめることができるプリントを用意する。		
10									
11	第4章 近代日本と世界	21	○近世から現代に至るまでの時代の中で、文化や生活様式の変化を捉えながら、時代を追って出来事や変化をまとめる。 ◆近代前半の時代の特色について、課題意識をもって究明し、捉えることができる。				・劇的な文化や生活の変化を捉えることができるよう、見比べることができる資料を提示する。 ・近代戦争の特徴を捉えることができるよう、戦争の原因や引き金を深く説明する。		
12									
1	第5章 二度の世界大戦と日本	18	○二つの世界大戦についてそれぞれの内容やその後の社会への影響を確認しながら、戦争について深く考える。 ◆第一次世界大戦から第二次世界大戦終結までのわが国の歴史の大きな流れを大観する。				・世界大戦によってもたらされたものや各国の関係性が、我々の今の生活につながっていることを理解できるような資料を用意する。		
2									
3	第6章 現代の日本と世界	9	○終戦後の社会の動きをまとめ、今までの歴史から現代につながってきた事柄を発見し、まとめる。 ◆第二次世界大戦終結後のわが国の歴史の大きな流れを大観する。この時代の特色について、課題意識をもって究明し、捉えることができる。				・社会での当事者意識をもつことができるよう、身近な話題を教材として使用する。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	数学		学習グループ名	中⑤			
目標・ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (2) 事象を論理的に考察する力、数量や図形を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	中村 保雄						
年間授業時数	105 単位時間						
使用教科書	大日本図書 「数学の世界2」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫		
4	式と計算	10	○数量を文字で表す。 ◆同類項の意味を知る。		単項式、多項式の意味が伝わるように指導する。		
5		9	○具体的な場面で文字を使う。 ◆文字式でも四則演算ができることを理解する。		計算の順序を強調する。		
6		13	○文字式を有効に使い計算に利用する。 ◆単項式、多項式の計算ができる。		文字式を生活の中で利用することを推奨する。		
7		8	○式の値を求める。 ◆式を簡単にしてから、値を求めることができる。		式の値を求めることに興味をもたせる。		
9	連立方程式	13	○2元1次方程式を解く方法を理解する。 ◆様々な連立方程式を解くことができるようになる。		連立方程式の必要性和意味を理解させる。		
10	1次関数	8	○量の変化を負の数までひろげる。 ◆関数の意味を理解して、1次関数のグラフをかくことができる。		1次変化の変化の様子を表、式、グラフなどで思考させる。		
11		12	○比例と1次関数の関係を考える。 ◆比例をふくむ新しい関数があることに興味をもつ。		1次関数の変化や対応の様子に興味・関心をもたせる。		
12	平行と合同	10	○平面図形について、作図などを論理的に取り組む。 ◆帰納的な方法と演算的な方法理解する。		図形の合同条件を確実に理解させる。		
1	三角形と四角形	7	○平行四辺形の定義と性質を理解する。 ◆平行四辺形の性質を利用して、様々な問題に取り組む。		定義を理解し活用できるよう指導する。		
2	データの比較と箱ひげ図	10	○箱ひげ図 ◆箱ひげ図とヒストグラムからデータの分布の様子を読み取れる。		目的に応じたデータの整理の仕方を理解させる。		
3	1年間のまとめ	5	○2年生で学んだ数学を振り返る。 ◆2年間のまとめ、総復習		1年間の振り返りを丁寧にする。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	理科		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1)自然の事物・現象についての理解を深め、観察実験の基本的な技能を身に付ける。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象にすすんで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	木村 一樹				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	大日本図書「理科の世界2」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	物質の成り立ち	12	○炭酸水素ナトリウムの熱分解と水の電気分解から、物質にはそれを構成する要素があり、取り出せることを学ぶ。 ◆物質の構成要素を知る。		化学変化の基本的な概念や原理・法則などを観察や実験、原子・分子のモデルを通して、実際に体験し理解を深めていく。
5	酸素との化学変化 化学変化と熱の出入り	12	○物質と酸素の化学反応についてまとめる。 ◆身近に起きやすい酸素と結びつく化学変化と酸素を失う化学変化を知る。 ○化学変化の熱の出入りをまとめる。 ◆硫黄と鉄の化学変化から、熱の出入りがあることを理解する。		
6	化学変化と物質の質量	16	○化学変化の前後で質量が変わらないこと、反応物の質量により一定の割合で生成物の質量が増加することを学ぶ。 ◆化学変化の反応物と生成物の質量の関係を知る。		
7	生物の体のつくりとはたらき	8	○単細胞生物や多細胞生物の観察から、全ての生物は細胞を最小単位として構成されていることを学ぶ。 ◆生物は細胞からできていることを知る。		
9	植物の体のつくり 動物の体のつくり	12	○植物の根・茎・葉のはたらきと光合成、呼吸について学習する。 ◆植物の体のつくりとはたらきを知る。 ○動物が生命を維持する仕組みを学ぶ。 ◆動物の体のつくりとはたらきを知る。		
10	電流とその利用	16	○回路に加わる電圧と流れる電流を測定し、オームの法則を学習する。 ◆電流と回路について理解する。		
11	電流と磁界	16	○導線に電流を流したときの鉄粉の様子や、コイルに磁石を近付けたときの誘導電流から電流と磁界の関係を学ぶ。 ◆電流がつくる磁界と、磁界の変化から電流が発生することを知る。		回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギー、電流と磁界について観察や実験を通し、実際に体験し理解を深めていく。生徒の実態に応じ、十分な観察や実験の時間、課題解決のために探究する時間などを設けるようにする。
12	電流の正体	12	○バンデグラフ起電機で静電気を起こし蛍光灯をつけることで電流が電子の流れということを学ぶ。 ◆電流の正体が電子の動きということを知る。		
1	気象観測	12	○気温、湿度、気圧、風向、風力などの観測方法と記録のしかたを学ぶ。 ◆気象要素として、気温、湿度、気圧、風向、風力などを理解する。		
2	天気の変化	16	○前線について学び、天気図から天気が変化することを確認する。 ◆天気の変化について理解する。		観察、実験や科学資料集や文献の図版などを用いて、結果や資料を分析して解釈し、身近な気象要素と天気の変化に着目しながら、気象についての基本的な概念や原理・法則を見出し、見識を広める。
3	日本の気象	8	○日本の特徴的な天気図を読み取り、その天気図の季節を確認する。 ◆日本の気象の特徴を知る。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通し、音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。 (2) 演奏方法を創意工夫しながら、演奏や合奏をする力を付ける。 (3) 鑑賞などを通して、音楽文化への理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	早坂 あまね				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	教育出版 「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」 「中学器楽1-3音楽のおくりもの」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5	楽典 歌唱	8	○音符と休符の長さ・拍子 ○「くいしんぼうのラップ」 ◆音符や休符の長さの違いやシンコペーションを理解し、リズムパターンを作ることができる。 ◆様々なリズムで掛け合いをすることができる。 ○歌うための準備 ○「校歌」 ○「エーデルワイス」 ◆身体をリラックスさせ発声することができる。		・長さの違いを分かりやすくするため、手で拍を叩いたり、記号を細かく分解する。 ・カードを使い、視覚的に分かりやすくする。 ・身体を温めるため、ストレッチを行う。 ・正しい発声をするため、姿勢を整える。 ・範唱を聴く。
6 7	歌唱 鑑賞	8	○「夏は来ぬ」 ◆歌詞の意味や示されている情景を想像して歌唱表現することができる。 ○「雨だれ」 ◆楽曲の雰囲気、表現を感じ取ることができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。		・歌詞の意味を理解するため、ICT機器を使用し、調べ学習を行う。 ・シヨパンの有名な楽曲を鑑賞し、作曲者理解を深める。
9 10 11 12	歌唱 鑑賞 合唱	10	○「ソーラン節」 ◆囃しことばや伴奏に合わせて表現を工夫することができる。 ◆民謡の特徴を理解することができる。 ○「アイダ(凱旋の行進曲)」 ◆物語の内容を理解し、舞台での表現を感じ取り鑑賞することができる。 ◆作曲者について理解を深めることができる。 ◆バレエとオペラの中のバレエの表現を比べることができる。 ○「夢の世界を」 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。 ◆音色やハーモニーを捉えながら合唱表現をすることができる。		・実際の映像を鑑賞する。 ・衣装や装飾、表情が分かりやすい映像を用いる。 ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印を付け、分かりやすくする。
1 2	合奏 歌唱	7	○ハンドベル「歓喜の歌」 ◆曲全体の流れを意識し、タイミングよく演奏することができる。 ○「君が代」 ◆プレスや強弱、フレーズングを意識して歌唱することができる。		・音符の音の違いを色で表す。
3	1年間のまとめ	2			・見通しがもてるよう授業全体の流れを呈示する。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	美術		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 様々な素材や道具を使い、安全に気を付けて創作する。 (2) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (3) 綺麗なもの、美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。				
担当教職員 *学校介護職員	佐藤 やよい、梅原 諒				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	日本文教出版「美術2・3上 学びの実感と広まり」 日本文教出版「美術2・3下 学びの探究と未来」				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	立体作品制作	15	○世界の美術作品を鑑賞し、美術の歴史や文化について学ぶ。 ○美術動画や写真を鑑賞し、話し合ったりしながら理解を深める。 ◆伝える、使うなどの目的や機能を考えて制作する。 ◆様々な素材に触れ、作品の構想を計画的に練ることができる。 ◆自然の造形や美術作品などの造形的な良さや美しさを感じて制作することができる。		・身近にある作品を紹介し、美術に親しみをもてるようにする。 ・作る作品についてタブレット端末を用い調べ学習をする時間を設ける。
5					
6					
7					
9	平面作品制作 (砂絵)	15	○素材やしようする道具について学習する。 ◆素材の感触を確かめ、形や色の組み合わせとそこから生まれるパランスや色の鮮やかさを理解できるようにする。 ○ラフスケッチを行う。 ◆砂の量や作品の大きさを選択し、期間内に完成できる作品を計画できるようにする。 ○粘着素材に色砂をのせながら、描いていく。 ◆丁寧に画面へ色砂をのせられるようにする。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。 ・グラデーションの表現など、色砂特有の表現方法を一緒に確認できる時間を設ける。
10					
11					
12					
1	平面作品制作	4	○表現したい模様を予測しながら液を垂らす。 ○マーブリング液を専用液に垂らし、紙を浸し、模様を定着させる。 ◆色の交わりについて予測できるよう、計画的に行えるようにする。		・グループで協力して取り組むことができるように、役割分担を決める時間を設ける。 ・道具の場所や素材の準備まで生徒自身で行えるように手順書を用意しておく。
2					
3					
通年	作品鑑賞	1	友達や自分の完成した作品を鑑賞し、良い点について発表する。		様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第123学年	教育課程名	保健体育	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	保健体育			学習グループ名			
目標・ねらい	(1) 運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見つけ、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	内田麻衣 木村一樹 早坂あまね 梅原諒						
年間授業時数	35 単位時間						
使用教科書	学研 中学保健体育						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	体育祭に向けて 陸上競技・球技	9	○集合、整列、集団行動 ◆体を動かす楽しさに触れ、友達と関わったり、動きを持続する能力を高める。 ○課題走球技など ◆健康の保持増進や体力の向上を図る。 ◆運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合い、安全に留意する。			・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。	
5							
6	水泳 保健「運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全」	6	○水慣れ、浮き身、泳法指導 ◆水に慣れ、自己の能力に適した課題をもって、技能を高める。 ◆個別の課題に取り組み、歩行など水中でしかできない動きを経験する。 ○スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ◆健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを知る。 ○健康な生活と病気の予防 ◆感染症はどのように起こり、どうすれば予防できるのか理解する。			・室温、水温、WGTPを管理し、安全に入水できるようにする。 ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化させるようにする。 ・個に応じた課題を設定する。 ・ICT機器を使用する。 ・実態や課題に合わせてグルーピングをする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。	
7							
9							
10	集団行動・マスゲーム ダンス 保健「傷害の防止」	11	○集団行動・ダンス ◆カウントをとりながら身体を動かす。ペアになった友達とカウントを合わせる。 ◆ルールを理解し、集団で協力する力を養う。 ◆身体のいろいろな使い方を学び、楽しみながらボディイメージを高める。 ○交通事故の危険予測と回避、自然災害による危険 ◆事故や災害の状況について考える。			・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。・各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 ・動画等で手本を見たり、ICT機器を使用したりする。	
11							
12							
1	生涯スポーツ・武道 保健「心身の機能の発達と心の健康」	9	○生涯スポーツ ◆仲間と連携し、ゲーム展開できるようにする。相互に影響を与え、関わっていることを理解する。 ◆自己の能力に適した課題をもって、個人やグループで協力しながら自己記録の向上や喜び、競争の楽しさが味わうことができるようになる。 ○剣道：基本動作・面・小手 ◆伝統的な行動の仕方を理解し、相手を尊重して積極的に取り組む。 ○心身の発達と心の健康 ◆体の各器官はどのように発達するのか理解する。			・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化させるようにする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。	
2							
3							

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	技術・家庭	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	技術・家庭			学習グループ名			
目標・ねらい	(1) 生活や自立に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 家庭生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、自分の考えを表現するなど、課題を解決する能力を養う。 (3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。						
担当教職員 *学校介護職員	牧 理 並木美由紀						
年間授業時数	70 単位時間						
使用教科書	技術 開隆堂「技術・家庭 技術分野」 家庭 教育図書「New技術・家庭 家庭分野」						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	○材料と加工の技術 ・生活や社会と材料と加工の技術 ・材料を利用するための技術	14	○身の回りの製品の観察 ○材料の性質の実験 ○材料を作る技術と材料を材料を加工する技術 ◆材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。			・身の回りの製品を取り上げることで材料と加工の技術について興味・関心をもたせる。 ・加工方法については予想できない可能性もあるため、選択肢を用意する。	
5							
6	○材料と加工の技術 ・問題解決の手順 ・製作のための技能	14	○基本的な構想における問題解決の工夫 ○部品加工の手順と工具(けがき、切断、穴あけ、塗装) ◆安全・適切に部品加工ができる。			・身近な製品を例に設計のながれ、問題解決の工夫について考えさせる。 ・工具を扱うので安全に留意させる。	
7							
9	○材料と加工の技術 ・これからの材料と加工の技術	6	○課題の提示 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて材料と加工の技術を工夫しようとしている。			・学習を通して身に付けた見方・考え方をどのようにして社会における問題解決につなげていくか考えさせる。	
10	○衣生活と自立 ・製作の基礎技能 ・小物類の製作	12	○手縫いの基礎(玉結び、玉止め、バックステッチ) ○小物類の製作 ◆製作に必要な基礎的な技能を知り、身に付ける。			・見本や資料を提示し、視覚的に分かりやすくし、見通しがもてるようにする。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策を一緒に考えながら製作を進められるようにする。	
11							
12	○食生活を豊かにするために ・食事摂取基準 ・何をどれだけ食べたらよいか	6	・食事摂取基準 ・6つの基礎食品群と、食品群別摂取量の目安、食品成分表 ◆健康な食生活を送るために必要な知識を身に付ける。			・絵カードやパワーポイントなどで視覚的に分かりやすくする。 ・自分の生活と結び付けて考えられるようにする。	
1	○食生活を豊かにするために ・日常食の調理	18	○調理の基礎技術(計量器具の使い方、調理道具の使い方) ○日常食の調理(洗う、切る、調理、片付け) ◆日常食の調理に必要な知識と技能を身に付ける。			・安全と衛生に気を付けて実習を行う。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策を一緒に考えながら製作を進められるようにする	
2							
3							

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	外国語		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 英文の形・意味・用法を理解し、日常的な話題について英文の概要を捉える技能を身に付ける。 (2) 話の内容を把握して適切に応答するために、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、まとまりのある話をしたり文章を書いたりする。 (3) 日常的な話題や海外の話題について、主体的に英語を用いて伝え合おうとする。				
担当教職員 *学校介護職員	相田 多恵				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	東京書籍 NEW HORIZON English Course2				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	Unit0	12	○動詞の過去形、過去進行形、There is(are)…」の文 ◆これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。		・英語で簡単な挨拶をしたり、やさしい指示を聞いて行動したりすることに慣れるよう、毎時の授業で定型表現を用いる。 ・視聴覚教材を活用して、音声と文字が結び付くようにする。 ・授業の始めに英語の歌を扱い、ネイティブの発音やイントネーションにふれる。 ・学習内容の理解の定着をはかるため、プリントやワークを用いる。 ・ALTによる授業では、発音に慣れるとともに、自信をもって発言できるような雰囲気作りをする。
5	Unit1 Let's talk1	12	○Be going to…、助動詞willの文 ◆休暇や週末の予定について質問したり答えたり、自分の意思を伝えたりすることができる。		
6	Unit2	12	○接続詞when、ifの文 ◆時や条件について、伝え合ったり書いたりすることができる。		
7	Unit3 Let's Talk2	12	○不定詞、It is …+toの文 ◆夢の実現のためにしていることなどについての情報を整理して伝え合うことができる。		
9	Unit4	12	○have to、do not have to、助動詞must、must notの文 ◆する必要があることやしなければならないことを伝え合うことができる。		
10	Unit5 Let's Talk3	16	○疑問詞+toを用いてどのようにしたらよいか等を説明する。 ◆道具の使い方について伝えることができる。		
11	Unit6	16	○比較表現を用いて対話をする。 ◆複数のものを比較して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。		
12	Let's Talk4	12	○Shall I~?、比較表現を用いて対話をする。 ◆自分の好みや要望を伝えながら買い物をするすることができる。		
1	Unit7	12	○受け身を用い、あるものについて紹介し合う。 ◆事実などを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。		
2	Let's Talk5	16	○電話での会話を想定して対話をする。 ◆自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝えることができる。		
3	1年間のまとめ	8	○1年間の学習事項の復習をする。 ◆単語、文法のおさらいをし、定着を図る。		
通年	ALT英語でのやり取りを中心にした学習				

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1～3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	道徳		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 集団や社会でのルールやマナーなどについての理解を深める。 (2) 自分や他の人に対する理解を深め、考えや意見を自ら表現する。 (3) 自然や崇高なものに興味をもち、理解を深める。				
担当教職員 *学校介護職員	早坂 あまね 梅原 諒 木村一樹				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	「きみがいちばんひかるとき」 中学道徳1, 2, 3 光村図書				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	A [向上心、個性の伸長]	3	○自己紹介、他己紹介 ◆自分の興味や関心について考える。		・「自分」を見つめることができるよう、誰にでも共通の紹介項目を設定する。
5	B [相互理解・寛容]	7	○グループエクササイズ、コミュニケーションゲーム ◆お互いを認め合う心を育てる。		・ゲームの勝ち負けにこだわらず、互いを認め合うような言葉掛けをするよう、授業の最初に確認する。
6					
7	A [真理の探究、創造]	2	○課題や問題点に対して自分なりの意見をもち、伝える。 ◆答えが一つではない問題について考え、自分の意見をもつ。		・自分の意見をまとめられるよう、ワークシートやタブレット端末を活用する。
9	C [遵法精神、公德心] あすを生きる1 「使っても大丈夫？」	3	○インターネット使用時のルールや著作権について知る。 ◆法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。		・具体的にイメージできるよう、生徒たちに身近な題材を扱う。
10	B [礼儀の心] あすを生きる1 「『愛情貯金』をはじめませんか」	4	○礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆挨拶の意義を理解し、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。		・ロールプレイをして場面ごとの言葉遣いを考えやすくする。
11	D [生命の尊さ] きみがいちばんひかるとき1 「捨てられた悲しみ」	4	○命の尊さについて自分の意見を発表し、友達と話し合う。 ◆生命のかけがえのなさを理解し、生命を大切にしようとする態度を育てる。		・栽培などを通して普段から生命の尊さについて考える活動を行う。
12	A [希望と勇気、克己と強い意志]	2	○グループ学習発表練習 ◆困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる気持ちを育てる。		・それぞれが自信をもってやり遂げることができるよう、得意な分野での発表を行う。
1	C [国際理解、国際貢献]	3	○SDGsについて学び、考える。 ◆国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。		・実際に考えることができるよう、時事問題などを題材として取り入れる。
2	C [勤労]	4	○疑似仕事体験 ◆働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を育てる。		・職業体験とリンクさせて自分の将来を考える材料とする。
3	B [思いやり、感謝]	3	○1年間の自分を振り返る ◆多くの人によって支えられ、守られていることに気付き、感謝する態度を育てる。		・1年間の生活の中で人に支えられてきた部分をピックアップし、気付きやすくする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2、3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	総合的な学習の時間		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。				
担当教職員 *学校介護職員	木村 一樹 梅原 諒 早坂 あまね				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	自己紹介	2	○自己紹介 ◆自分のことを自分の言葉で紹介できる。		・迷わず紹介できるよう、全員共通の紹介項目を設定する。
	今年度の目標	2	○目標設定 ◆グループ目標を決めるために話し合い活動ができる。		・円滑に話し合い活動が行われるよう、適宜、言葉かけをする。
5 6	校外学習(事前学習)	6	○警視庁についての調べ学習・発表 しおり作成 ◆校外学習についての見通しをもつ。		・校外学習に見通しをもてるよう、スライド等を利用して大まかな流れを説明した後、調べ学習を行う。
7 9	校外学習(事後学習)	6	○パワーポイント資料作成、発表 ◆校外学習で学んだことをまとめる。		・自信をもってまとめられるよう、手本を例示する。
10	ビジネスマナー	6	○職場体験学習に向け、礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆場に応じた言葉遣いや態度を知り、実践する。		・場面に応じての言葉遣いやマナーをまとめたマニュアルを用意する。
11	情報リテラシー学習	6	○情報リテラシー、SNSの使い方 ◆インターネットの適切な使い方を身に付ける。		・自分もトラブルに巻き込まれるかもしれないと实际的に考えられるよう、生徒が普段やっている使用方法を例に考える。
12	NIE朝日新聞出前授業(事前学習)	6	○新聞の読み方、SDGsについて ◆地球の未来を考え、自分たちにできることを考える。		・みんなで一つの記事を学べるよう、デジタル版の新聞をモニターに写すなどして使用する。
1	NIE朝日新聞出前授業(事前学習)	6	○スピーチ ◆学んだことを自分事として捉え、自分の考えを文章でまとめる。		・簡潔にスピーチをできるよう、スピーチの要点をまとめるシートを用意する。
2 3	進路学習	8	○人生予想図作成 適正把握 高校、大学、職業についての調べ学習 ◆高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。		・「13歳のハローワーク」のWebページを使用し、自分の性格や能力がどんな職業にあっているかを調べる。
通年	栽培	22	○作物や植物を栽培する。 ◆栽培を通して生物と環境のつながりを知る。		・1年を通して栽培を行うことで、植物の生育の条件やたくましさを実感できるようにする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	
教科等名	特別活動		学習グループ名		
目標・ねらい	(1) 自分の長所に気付き、自信をもって発表することができる。 (2) 集団の中で相手の気持ちを受け止めたり、自分の気持ちを伝えたりすることができる。 (3) 行事への期待感や興味・関心を高め、仲間と協力して取り組むことができる。				
担当教職員 *学校介護職員	新田 真 早坂 あまね 上原 晃人 池上 舞(並木美由紀) 小原 瑞騎 相田 多恵 *熊谷 直幸 *小野 佳子				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	新入生歓迎会	2	○活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。 ◆新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。		・出し物に見通しをもてるよう、どんな活動があるか例示する。
5	体育祭	6	○体育祭の競技種目を知り、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、仲間と協力して参加する。		・体育祭の種目をイメージできるように、動画や昨年度のビデオを見る。
6					
7	墨東祭準備①	2	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○小道具や背景などを作成する。 ◆墨東祭の発表内容と、何が必要かを協力して考える。		・一人一人ができること、得意なことをもとに出し物を考えるよう言葉かけをする。
9	墨東祭準備②	6	○小道具や背景などを作成する。 ○発表の練習をする。 ◆墨東祭に向けて自分の役割を自覚し、練習する。		・それぞれの役割に自信をもって取り組めるよう、練習の時間を多く設定する。
10					
11	移動教室	5	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○移動教室に向けて事前準備をする。 ○移動教室を終えて頑張ったことなどを発表する。 ◆移動教室について見通しをもつ。		・移動教室に見通しをもてるよう、昨年度の写真や映像などの資料を用意する。
12	墨東祭	4	○発表の練習をする。 ○墨東祭の振り返りを行う。 ◆墨東祭を振り返り、自身や仲間の頑張ったこと実感する。		・自身の墨東祭の様子を振り返ることができるよう、写真や映像などを使用する。
1	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
2	3年生を送る会に向けて	5	○3年生を送る会の準備をする。 ◆3年生を意識して送る準備を主体的に行う。		・これまでの送る会の写真を見て、自分達なりの送り方を考えられるように支援する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
3	卒業式に向けて	2	○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。		・見通しをもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。
	2年生を振り返って 進級に向けて	2	○2年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ○3年生に向けて頑張りたいことや挑戦したいことを考える。 ◆1年を振り返り、進級に向けて目標を確認する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。 ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
通年					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1～3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力を付ける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動をすすんで行う。				
担当教職員 *学校介護職員	梅原 諒 木村 一樹 早坂 あまね				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	身体の取り組み コミュニケーション	70	○ストレッチ ○姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など) ○姿勢保持(座位、膝立ち、立位など) ○歩行練習 ○手指の操作性を高める取り組み ○視機能を高める取り組み ○コミュニケーションゲーム ◆身体の取り組みや健康に関することなどに取り組み、日常生活に生かす ◆正しいコミュニケーションを学び、実践する力を付ける。		・身体の取り組みを行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。 ・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。 ・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。